

宿泊税導入に関する事業者ヒアリング及び市町への意見照会の結果について

1 要旨

宿泊税導入の検討にあたり、観光関連事業者と市町の意見や課題等を把握するために実施した、事業者ヒアリング及び市町アンケートの結果等について報告する。

2 調査概要

(1) 事業者ヒアリング

- ①調査期間 令和6年4月30日～
- ②対象者 宿泊事業者団体の各支部の代表者、宿泊施設の代表者、旅行関連事業者 等
- ③ヒアリングの内容
  - ・宿泊税導入における課題、意見及び要望
  - ・宿泊税の使途について
  - ・システム改修の必要性の有無 等

(2) 市町アンケート

- ①調査対象 県内23市町
- ②調査期間 令和6年5月29日～
- ③意見照会の内容
  - ・市町の観光振興施策の現状・課題
  - ・宿泊税の使途について
  - ・市町配分の考え方や今後取り組みたい施策
  - ・宿泊税導入における課題、意見及び要望
- ④回収実績 全市町から回収

3 調査結果の概要

(1) 事業者ヒアリング (主な意見)

項目	主な意見
① 導入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の流れであり避けて通れない。県が観光施策を進めるうえで必要</li> <li>・観光目的の薄いビジネス客等に対して課税することへの懸念</li> <li>・修学旅行など学校行事等への配慮</li> <li>・特別徴収義務者となる宿泊事業者 (特に小規模事業者) の事務負担の増加への懸念</li> <li>・宿泊事業者のレジシステム改修等への県からの十分な手当てが必要</li> </ul>
②使途について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設の改修や高付加価値化に繋がる取組を中心に使ってほしい</li> <li>・滞在時間の延長や観光消費額の増加に繋がる取組に使ってほしい。例えば、滞在して楽しめる様々な観光コンテンツの充実が望まれており、観光列車での楽しみやバスガイド付きの個人向け観光コースの造成を検討してほしい</li> <li>・宿泊者を増やすには、ナイトライフの充実が不可欠ではないか。夜神楽など、その土地ならではの文化やエンターテイメント性が感じられることを増やしていく取組が重要</li> <li>・プロモーションよりは、施設整備や魅力づくりを中心にお客様の満足度を上げていくような施策を実施してほしい</li> <li>・使途の議論において、宿泊事業者等の関係者が関われる仕組みの構築</li> <li>・県内市町への配分については、頑張る市町に手厚く配分すべき</li> </ul>
③その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊者に対して、使途を「見える化」してほしい</li> <li>・継続事業には既存の観光予算で対応し、宿泊税を充てないでほしい</li> </ul>

(2) 市町アンケート (主な意見)

項目	主な意見
① 市町の観光施策の現状・課題	<p>ア 市町が観光施策を実施していくにあたっての課題 (選択制・複数回答可) 観光振興財源の不足 (18 団体)、観光資源の不足 (14 団体)、市町の人材不足 (14 団体)、マーケティングを活用した戦略立案不足 (14 団体)</p> <p>イ 市町が考える宿泊・観光業の課題 (選択制・複数回答可) 観光事業者の人手不足 (19 団体)、外国人向け言語対応の遅れ (15 団体)、観光施設の老朽化 (14 団体)</p>
② 宿泊税の使途について	<p>ア 宿泊税を活用して県に取り組んでほしい施策や事業 (選択制・複数回答可)</p> <p>&lt;ブランド価値向上につながる魅力づくり&gt; 世界的知名度を有する街道の複数年整備 (6 団体)、ナイトマーケットなど常設・大規模イベント支援 (6 団体)、外国人向け観光列車導入 (5 団体)</p> <p>&lt;誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備&gt; 二次交通整備など中山間地域等へのアクセス向上 (17 団体)、外国人・県外客へ分かりやすい交通・案内表示整備 (16 団体)、景観維持の支援 (15 団体)</p> <p>&lt;広島ファンの増加&gt; 他地域との差別化を図るための「多様な平和」をテーマにした効果的プロモーション (9 団体)、ツーリストシップの浸透 (5 団体)</p> <p>&lt;3つの柱を支える土台づくり&gt; 宿泊施設の高付加価値化への支援 (14 団体)、宿泊事業者等の人材確保・育成に向けた支援 (12 団体)、観光関連事業者の生産性向上に資するDXの導入支援 (10 団体)</p> <p>イ アの取組以外で県に期待する役割 (自由記載) ・インパクトのある事業を展開し、県域全体への波及効果を狙ってほしい ・周辺地域への観光客の分散化、特定観光地への観光客への一極集中の是正 ・自然的観光資源における観光客の安全対策に対する県の財政支援</p>
③ 市町配分の考え方や今後市町として取り組みたい施策	<p>ア 交付金方式と補助金方式のどちらを希望するか (選択制)</p> <p><input type="checkbox"/> 交付金方式 (特定の目的をもって金銭を交付) (15 団体)</p> <p><input type="checkbox"/> 補助金方式 (特定の事業等に対する補助のために金銭を交付) (4 団体)</p> <p><input type="checkbox"/> 上記以外の方法 (2 団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定額を交付金方式とし、残りは補助金方式を採用する</li> <li>・県がメニューを作るのではなく、市町の判断で自由に活用できるようにしてほしい</li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 分からない (2 団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配分の規模、補助金方式の場合の補助対象経費など、不明な点が多いため現時点では判断できない</li> <li>・宿泊事業者の負担や影響次第。ハイブリッド方式にしてはどうか</li> </ul> <p>イ 宿泊税を活用して市町として取り組みたい施策や事業 (選択制・複数回答可)</p> <p>&lt;ブランド価値向上につながる魅力づくり&gt; 地域の魅力を活かした新たなコンテンツ造成・販売、高付加価値化 (17 団体)、街歩き・滞在観光ツアーの造成等 (9 団体)、オーベルジュの開設 (1 団体)</p> <p>&lt;誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備&gt; 二次交通の充実 (15 団体)、(インバウンドの推進に向けた) 多言語化表記の推進 (10 団体)、観光ガイド等のインバウンドに対応できる人材の育成 (9 団体)</p>

項目	主な意見
<p>③ 市町配分の考え方や今後市町として取り組みたい施策</p>	<p>＜広島ファンの増加＞            国・地域ごとの旅行ニーズ等に応じたプロモーション（12 団体）</p> <p>＜3つの柱を支える土台づくり＞            観光関連事業者の生産性向上に資するDX支援（機械化・デジタル化による省力化支援）（10 団体）、            老朽化した宿泊施設やインフラの回収等による高付加価値化（10 団体）、            市町DMOの人材充実（9 団体）</p> <hr/> <p>ウ 配分方法に関する意見・要望（自由回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町が独自の特長を活かした取組ができるよう、相応の配分をお願いしたい</li> <li>・(広域周遊を図るため)観光客・宿泊者が多い市町から、少ない市町へ配分してほしい</li> <li>・市内で徴収した税収相当額が、市内の宿泊事業者に還元される観光施策に充当されるなど、市内宿泊事業者の理解を得られる制度にすることが必要</li> <li>・市町の事業に全て新規性を求めるのは困難なので、一定のガイドラインの範囲内で交付金などを使えるようにしてほしい</li> </ul>
<p>④ 宿泊税全般（制度素案・使途）について</p>	<p>ア 市町の立場で県が宿泊税を導入することについて（選択制・複数回答可）            市町に配分された宿泊税の活用自由度があること（18 団体）、            宿泊事業者の事務負担の軽減等による理解を確保すること（18 団体）、            県の使途の明確化（15 団体）</p> <hr/> <p>イ 宿泊税全般に関する意見や要望（自由記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興に関する財源が確保される点については、観光により地域づくりを進めるにあたり、期待している</li> <li>・観光客のおもてなしには財源があるので宿泊税を進めてほしい</li> <li>・宿泊施設にコストや、宿泊客に手間をかけるため、小規模宿泊施設の閉鎖や宿泊客の減少に繋がる可能性があり、施策による効果よりもマイナスの影響が大きい宿泊税を財源とすることについては、免税点を設けない形では反対</li> <li>・現在の諸物価が上昇している状況下での宿泊料の実質的な値上げは、修学旅行の誘致活動に影響を及ぼすことから、修学旅行生を課税の対象としないよう配慮する必要がある</li> <li>・小規模宿泊事業者の事務負担を最大限軽減するよう、シンプルな制度にしてほしい</li> <li>・税の使途や事務負担の程度など、事業者の判断材料の提供に務めてほしい</li> <li>・宿泊者のうちビジネス客が中心であることから、徴税の手段と使途については十分な議論がなされるようお願いしたい</li> </ul>

#### 4 今後の進め方

- 市町等からの意見も踏まえ、宿泊税を導入した際の県・市町それぞれの役割などに基づく使途の考え方をはじめ、市町交付金の創設等による市町支援のあり方などについて、具体的な検討や調整を進めていく。
- また、現在、宿泊事業者に対して、税制度や使途、システム改修経費等に関するアンケート調査を実施しており、その調査結果も踏まえ、宿泊事業者の負担軽減策等についても、引き続き検討を進めていく。

## 宿泊税による新たな取組例・拡充する取組例

新たな用途の所要概算見込額 約30億円  
令和6年度当初観光費 13億円

### 観光立県推進基本計画の施策の柱

#### 1 ブランド価値向上につながる魅力づくり

##### 取組例

- ・世界的知名度を有する街道（例：ロマンチック街道）の複数年整備
- ・中山間地域での林道等を活用したマウンテンバイク専用コース整備
- ・ナイトマーケットなど常設・大規模イベント支援
- ・オーベルジュ開設支援
- ・外国人向け観光列車導入 など

##### 既存事業

- ・観光プロダクトの開発及び開発自走化 など

#### 2 誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備

##### 取組例

- ・2次交通整備など中山間地域等へのアクセス向上
- ・手荷物配送システム、インタウンチェックイン拡充等
- ・DX技術を活用したストレスフリー化等支援強化
- ・ベジタリアン、ハラール対応などへの支援
- ・外国人、県外客への分かりやすい交通・案内表示整備
- ・オーバーツーリズムへの幅広い対策
- ・観光・宿泊施設等への再生可能エネルギー利活用設備やEVバス導入支援
- ・景観維持への支援 など

##### 既存事業

- ・公的施設のおもてなしトイレ整備推進
- ・地域通訳案内士の育成 など

#### 3 広島ファンの増加

##### 取組例

- ・他地域との差別化を図るための『多様な平和』をテーマにした効果的なプロモーション
- ・ツーリストシップ浸透 など

##### 既存事業

- ・HITひろしま観光大使によるキャンペーン など

#### 4 3つの柱を支える土台づくり

##### ○自立的・継続的な観光産業の確立

##### 取組例

- ・宿泊施設の高付加価値化への支援や新たな宿泊施設の誘致促進
- ・観光関連事業者の生産性の向上に資するDXの導入支援 など

##### ○人材の確保・育成、及び働き方改革の推進

##### 取組例

- ・宿泊事業者等の人材獲得・育成に向けた支援
- ・観光施設等の経営者層等の人材育成
- ・食の魅力向上に資する料理人誘致 など

##### 既存事業

- ・観光客ニーズやトレンドなどのデータ集積・共有に向けた取組
- ・地域DMO等への専門家派遣 など

##### ○災害や感染症など不測の事態に備えるための収収の柔軟かつ機動的な運用

#### 【新】5 市町等の取組

- ・地域の特長を生かした取組や課題への対応

#### 【新】6 賦課徴収経費

- ・宿泊事業者報償金 等